和歌山

THE KINOKUNI SHINKIN BANK
であい ふれあい おつきあい
きのくに信用金庫
和歌山市本町2-38
TEL(073)432-5000
FAX(073)422-6194

和歌山総局
〒640-8156
和歌山市七番丁17
☎ 073(422)2131
fax 073(422)2133
mail:wakayama@asahi.com
橋本支局
☎ 0736(32)0353
紀南支局
☎ 0739(24)2340
新宮支局
☎ 0735(22)5245
購読のお申し込み 配達お問い合わせ
0120-33-0843
(7:00～21:00)
購読・配達のご用は
和歌山 (436)2323

みこし担ぎ手 学生が助っ人 湯浅・顕国神社

堺の羽衣国際大から20人参加

湯浅町湯浅の顕国神社で18日にある秋の例大祭で、今年も羽衣国際大学（堺市）の学生が神社の本みこしを担ぐ。かつては担ぎ手がおらず軽トラックの荷台にみこしを乗せる光景が続いていたが、近年は学生らの協力で祭りが活気づいている。

祭りはふるさとの発展を祈り、毎年秋に行われる町の風物詩。今年も神社の「本みこし」と町内各区や子ども会などが担ぐ20基のみこしが約2時間かけて町内を練り歩く。

本みこしは以前、地元の子どもらが担いでいたが、少子化で担ぎ手が不足し、約20年前から軽トラックに乗せて町内を巡るようになっていた。2014年、地域の課題解決のため、県が推進する「大学のふるさと」制度で町と大学が協定を結んだ。「みこしの担ぎ手がいない」と町職員から大学側が聞きつけ、有志の学生を派遣。以来、若者たちに担がれるようになった。宮司の長尾常民さん(46)は「地元の人も神様も喜んでくれていると思う」と話す。

3年目の今年は、同大の観光コースの学生約20人が参加する予定。大阪府八尾市出身で1年の的場萌さん(19)は初めての来県。「町は人口が減っていると聞く。私たちが担いで、周りの人たちに元気になってもらえれば」

祭りは正午から午後4時半。みこしは午後1時45分ごろに神社を出発し、町内を練り歩いて北恵比寿神社を目指す。県指定無形民俗文化財の「三面獅子舞」の披露もある。問い合わせは顕国神社（0737・62・2405）。

（杢田光）

学生たちに担がれて躍動する本みこし＝昨年10月、羽衣国際大提供

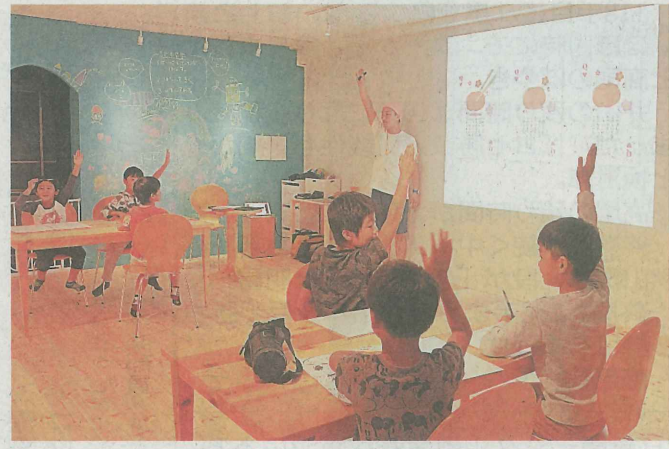
防災学習 簡易トイレ自作

東牟婁住民ら南海トラフ想定

備える @和歌山

南海トラフを震源とする地震に備えようと、新宮市や東牟婁郡の児童福祉ボランティアらでつくる東牟婁地方地域活動連絡協議会は14日、防災学習会を開いた。

各地の児童生徒の保護者や学童保育指導員ら13人が県東牟婁振興局の会議室に集まり、断した新聞紙で使用済みや、ポリ袋コートなど保健所の担た。災害備を試食した除細動器法を学んだ会の筒井ツわったこといきたい。のため、心たい」と話す



上「わかやまトランプ」の完成品イメージを持つ小幡和輝さん＝和歌山市内 下トランプの絵柄について話し合う子どもたち＝和歌山市福町

に生かす

「日本中の人がお土産として持って帰りたくなるような、魅力的なキャッチフレーズを考えよう！」。11日、どもらのライフスキル教育取り組む企業「PETER OX」（和歌山市福町）の室に小1～小5の9人の子ども が集まった。

小幡さんの取り組みに